

編集後記

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京都大学土木科会報No.59をお届けいたします。本号の編集にあたり、会員の皆様からご寄稿をいただき、発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援・ご協力に、幹事一同、厚く御礼申し上げます。

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、日常生活においても感染防止対策の徹底、不要不急の外出や移動の自粛が求められており、かつての日常とは全く異なる状況が続いております。京都大学土木会の活動も引き続き大きな制約を受け、総会でもご報告いたしましたように、3月の予餞会が中止となったほか、新入生歓迎会などの学生支援事業も中止ないしはオンラインでの開催となりました。

そうしたなかではございましたが、本年6月に役員会、そして、昨年は会報を通じて会員の皆様に報告することで開催に代えさせていただいた総会をオンラインで無事開催させていただくことができました。オンラインでの開催ということもあってか、特に総会は、例年よりも多い120名を越える会員の皆様にご参加いただくことができました。そして、東京2020オリンピックの開会が一月後に迫る非常にご多忙ななか、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会輸送局長の神田昌幸様にご講演をいただき、コロナ禍によって一層複雑化した大会の輸送オペレーションについて、大変興味深いお話を拝聴することができました。例年とは少し異なる形ではありましたが、会員の皆様との貴重な交流の場となったのではないかと考えております。

次年度以降どのような形となるかは未だ決まっておりませんが、会員の皆様から頂戴したご意見を踏まえながら、皆様にとって有意義なものとなるよう、京都大学土木会の活動を進めて参りたいと考えております。

今後とも引き続き、会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和3年度 幹事

松中 亮治、北根 安雄、島田 洋子